

2022年3月期 決算説明会 ー決算概要ー

2022年5月12日

JCRファーマ株式会社

【証券コード】4552

【問合せ先】管理本部 広報・IR室 北村（TEL 0797-32-1995）

売上高および営業利益、経常利益、当期純利益は 過去最高の数値・業績を達成

(単位：百万円)

通期実績
(2022年3月期)

売上高	: 51,082百万円 (前期比 +69.8%)
営業利益	: 19,933百万円 (前期比 +141.1%)
経常利益	: 20,512百万円 (前期比 +141.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	: 14,507百万円 (前期比 +110.5%)

- 主力製品：イズカーゴ[®]は期初予想を大きく上回る結果となった（3,003百万円）。グロウジエクト[®]は数量ベースでは増加したものの（+4.7%）、薬価改定の影響を受け前期比から減収となった。
- 販売・一般管理費および研究開発費は前年同期比で増加したものの、増収効果により各利益についても大幅な増益となった。

連結	2021年3月期 A	2022年3月期		参考
		B	前期比 (B-A)/A	予想 (修正後)
売上高	30,085	51,082	+69.8%	52,000
売上原価	7,812	10,461	+33.9%	8,300
売上総利益	22,272	40,620	+82.4%	43,700
販売・一般管理費	8,643	13,511	+56.3%	11,700
研究開発費	5,360	7,175	+33.9%	10,300
営業利益	8,269	19,933	+141.1%	21,700
経常利益	8,488	20,512	+141.6%	21,700
親会社株主に帰属する 四半期 / 当期純利益	6,892	14,507	+110.5%	15,400

対売上高	売上原価率	26.0%	20.5%	△ 5.5%
	研究開発費率	17.8%	14.0%	△ 3.8%
	営業利益率	27.5%	39.0%	+11.5%

(ご参考)

共同開発先による負担控除前の 研究開発費	5,856	7,671	+31.0%	11,080
-------------------------	-------	-------	---------------	--------

◆ 営業利益 19,933百万円 対前期 + 11,664百万円

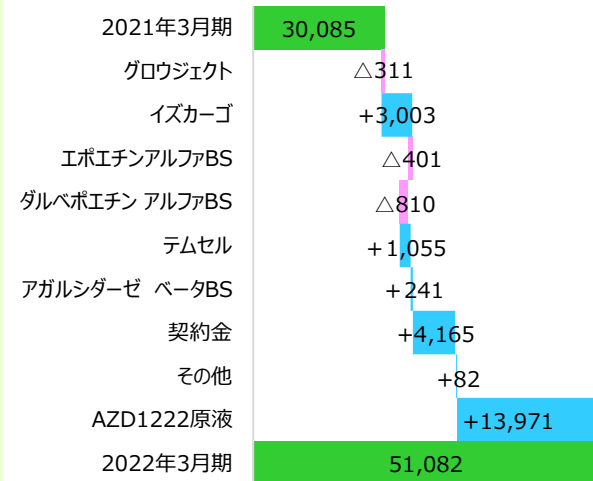
2021年3月期	8,269	
売上高		+20,996
売上原価		△2,648
販売・一般管理費		△4,868
研究開発費		△1,815
2022年3月期	19,933	

主な増減要因（前年同期比）

- 主に契約金収入およびAZD1222原液製造による売上高の大幅な増加
+ 20,996百万円
- 製品売り上げの増加に伴う売上原価の増加
△2,648百万円
- 人員増および製品売上に対するロイヤリティ・今期限りの手数料等による販管費の増加
△4,868百万円

(単位：百万円)

◆売上高 51,082百万円 対前期 + 20,996百万円

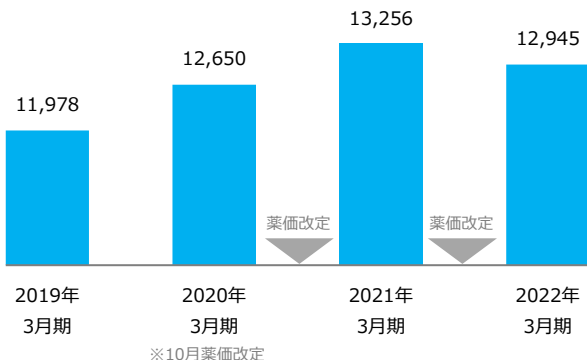


主な増減要因 (前年同期比)

- ・ イズカーゴ®の想定以上の市場浸透
+ 3,003百万円
- ・ 契約金収入の増加 (JR-141グローバル導出、
遺伝子治療共同研究など)
+ 4,165百万円
- ・ 契約内容に準じたAZD1222原液の出荷
+ 13,971百万円

品目	2021年3月期		2022年3月期			参考 予想 (修正後)
		構成比		構成比	前期比	
グロウジェクト®	13,256	44.1%	12,945	25.3%	△ 2.3%	13,900
イズカーゴ®	-	-	3,003	5.9%	-	2,800
腎性貧血治療薬	7,087	23.6%	5,875	11.5%	△ 17.1%	6,400
エポエチンアルファBS注「JCR」	3,278	10.9%	2,876	5.6%	△ 12.2%	2,700
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	3,809	12.7%	2,998	5.9%	△ 21.3%	3,700
テムセル®HS注	2,441	8.1%	3,497	6.9%	+43.2%	3,200
アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」	470	1.6%	711	1.4%	+51.3%	800
医薬品等合計	23,255	77.3%	26,032	51.0%	+11.9%	27,100
契約金収入	6,406	21.3%	10,571	20.7%	+65.0%	10,200
その他	18	0.1%	102	0.2%	(5.2倍)	0
AZD1222原液	404	1.3%	14,375	28.1%	(35.6倍)	14,700
売上高合計	30,085	100.0%	51,082	100.0%	+69.8%	52,000

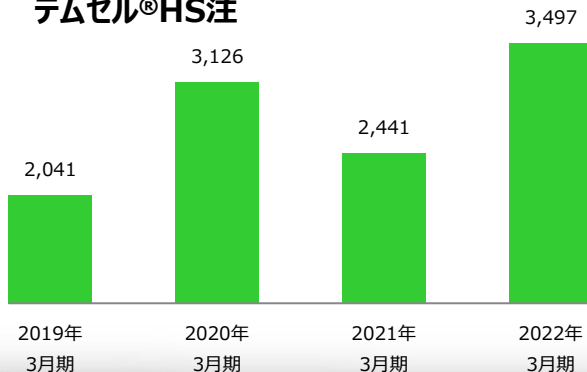
遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト®



近年のトピックス

- 2020年10月：営業体制変更
- 2020年10月：めろん日記®公開

ヒト体性幹細胞加工製品 ヒト(同種)骨髄由来間葉系幹細胞 テムセル®HS注

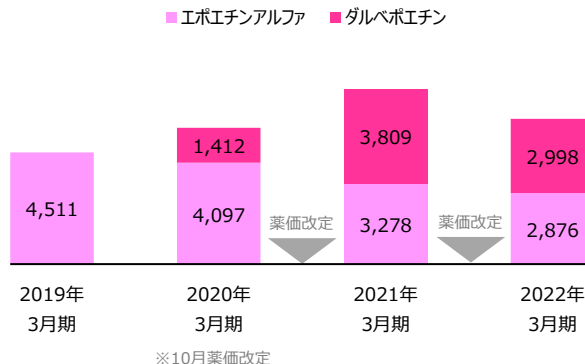


近年のトピックス

- 2020年4月-8月：在庫ひっ迫に伴う出荷制限

遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 エポエチンアルファBS注「JCR」

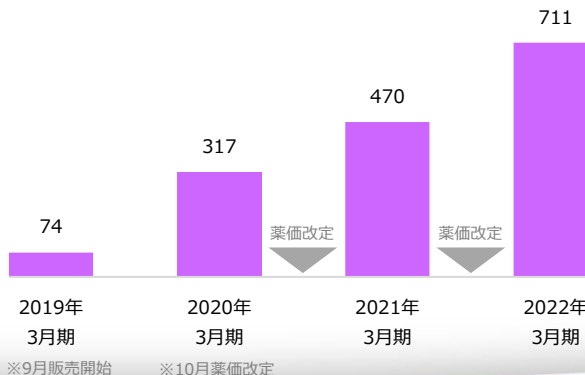
持続型赤血球造血刺激因子製剤 ダルベポエチン アルファBS注「JCR」



近年のトピックス

- 2021年4-5月：エポエチンアルファBS注「JCR」シリンジ製剤出荷調整
- 2021年8月：ダルベポエチン アルファBS注シリンジ「JCR」出荷調整解除

遺伝子組換えファブリー病治療剤 アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」

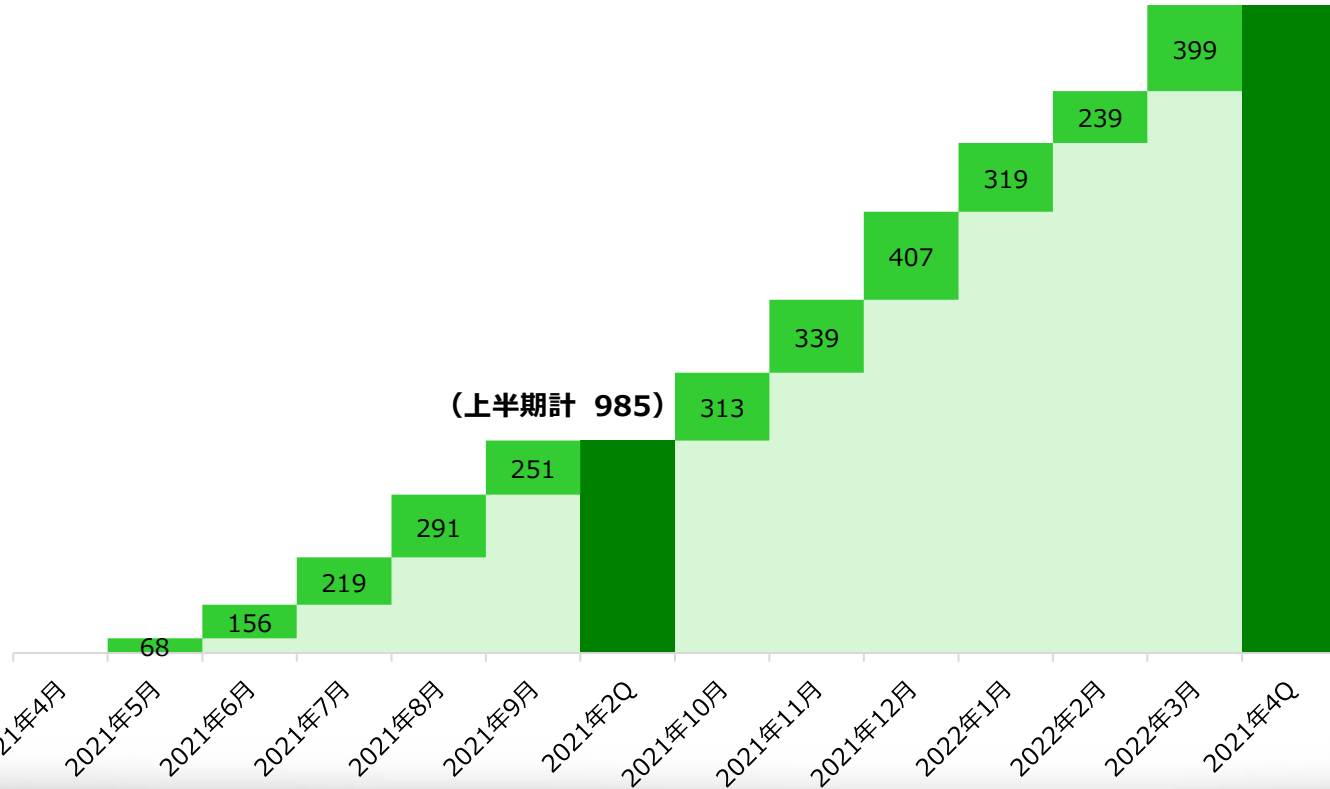


イズカーゴ® 単月売上高推移

(単位：百万円)

通期 3,003
(下半期計 2,017)

(上半期計 985)



トピックス

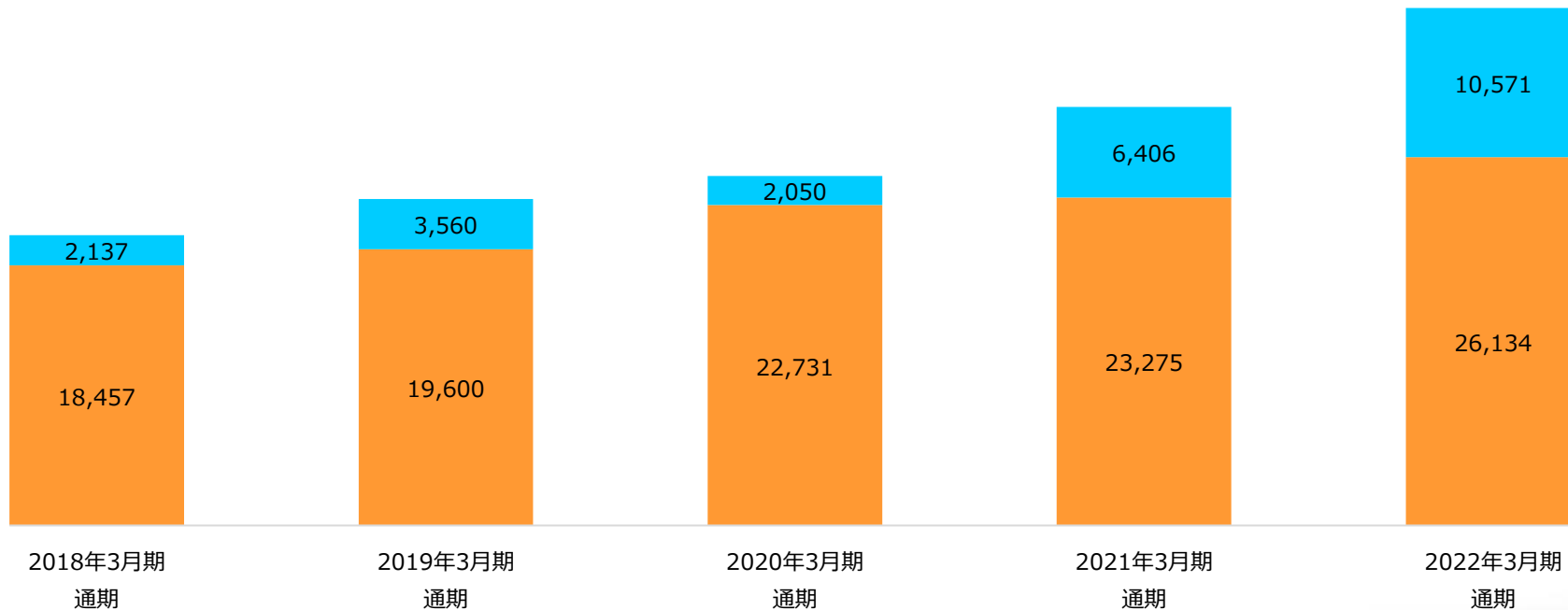
- 2020年11月 マーケティング部内にライソゾーム病専任部隊を設置し、イズカーゴ®に関する情報提供活動を専門的にサポート
- 2021年5月 「ムコ多糖症情報サイト」を開設
- 2021年5月19日 新発売

売上高推移 (AZD1222原液を除く)

■ 製商品*売上高 ■ 契約金

(単位：百万円)

*製商品：グロウジェクト、イズカーゴ、腎性貧血治療薬、テムセル、アガルシダーゼベータBS注「JCR」、その他

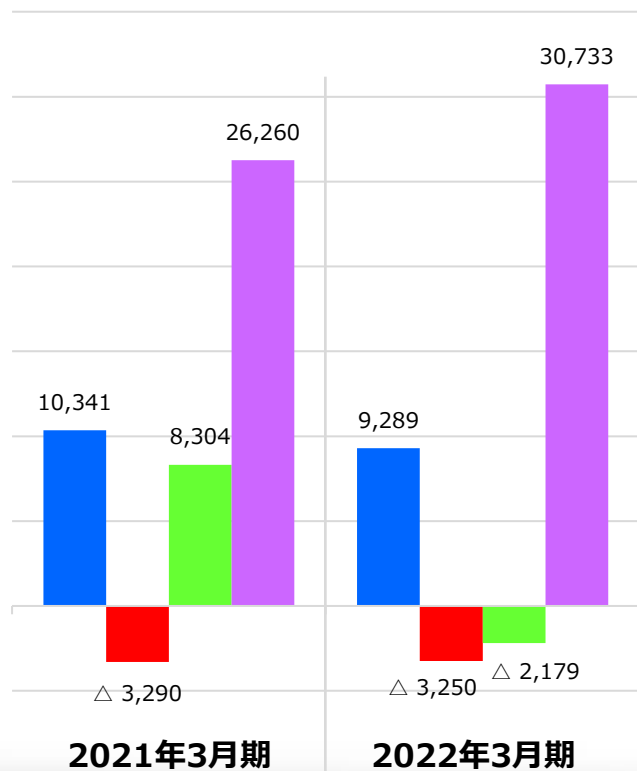


(単位：百万円)

	2021年 3月末	2022年 3月末	増減 ・主な増減項目		2021年 3月末	2022年 3月末	増減 ・主な増減項目
流動資産	48,545	62,188	計 +13,642 ・現預金 +4,472 ・売掛金 +7,402 ・たな卸資産 +1,082	流動負債	29,028	42,054	計 +13,025 ・圧縮未決算特別勘定 +8,167 ・短期借入金 +2,300
				固定負債	6,199	3,990	計 △ 2,208 ・長期借入金 △ 2,300
固定資産	25,238	34,946	計 +9,707 ・有形固定資産 +9,610	負債合計	35,227	46,045	+10,817
				純資産合計	38,557	51,089	計 +12,531 ・配当金 △ 2,170 ・利益計上 +14,446
合計	73,784	97,134	+23,349	合計	73,784	97,134	+23,349

自己資本率	51.3%	51.8%
-------	-------	-------

- 営業活動によるCF
- 投資活動によるCF
- 財務活動によるCF
- 期末 現金及び現金同等物



	2021年3月期 A	2022年3月期 B	増減 B-A
税金等調整前純利益	8,653	19,404	10,751
減価償却費	1,892	1,945	52
売上債権	△ 205	△ 7,402	△ 7,197
棚卸資産	△ 4,699	△ 1,082	3,617
仕入債務	2,253	△ 1,608	△ 3,861
その他	2,446	△ 1,966	△ 4,413
営業活動によるCF	10,341	9,289	△ 1,052
有価証券	0	0	0
設備投資	△ 4,780	△ 11,333	△ 6,552
その他	1,490	8,083	6,593
投資活動によるCF	△ 3,290	△ 3,250	40
借入金	9,420	0	△ 9,420
配当金・自己株式	△ 1,069	△ 2,158	△ 1,089
その他	△ 46	△ 20	25
財務活動によるCF	8,304	△ 2,179	△ 10,483
現金及び現金同等物の増減額	15,332	4,472	△ 10,859
期末現金及び現金同等物	26,260	30,733	4,472

【ご参考】

減価償却費	1,892	1,945
設備投資	3,319	4,472

業績予想 (2023年3月期)

売上高	: 45,000百万円 (前期比 Δ 11.9%)
営業利益	: 14,500百万円 (前期比 Δ 27.3%)
経常利益	: 14,500百万円 (前期比 Δ 29.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	: 10,300百万円 (前期比 Δ 29.0%)

- AZD1222原液製造事業の終了により、2022年3月期と比較し減収・減益となる。ただし、AZD1222原液製造事業を除いた事業では増収増益を目指す。

	2022年3月期	2023年3月期	前期比
AZD1222原液を除く売上高	36,706百万円	43,070百万円	+17.3%

- ・ イズカーゴ[®]の国内シェア拡大を目指す。
 - ・ グロウジクト[®]は販売数量増によって薬価改定の影響をカバーし、堅調な増加を目指す。
 - ・ アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」は今期より、住友ファーマ株式会社に販売業務を移管。
 - ・ ライツゾーム病開発品目の導出および技術提携など、ライセンス事業に積極的に取り組み、契約金収入15,400百万円を見込む。
- 売上高構成比率の変化から、販売・一般管理費は前期比減少を見込む一方で、グローバル臨床試験の進捗を受けて研究開発費の前期比増加を見込む。
 - ・ 販売・一般管理費 Δ 7.5%
 - ・ 研究開発費 +25.4%

(単位：百万円)

連結	2022年3月期 A	2023年3月期(予) B	増減 B - A	増減率 (B-A)/A
売上高	51,082	45,000	△ 6,082	△ 11.9%
売上原価	10,461	9,000	△ 1,461	△ 14.0%
売上総利益	40,620	36,000	△ 4,620	△ 11.4%
販売・一般管理費	13,511	12,500	△ 1,011	△ 7.5%
研究開発費	7,175	9,000	+1,824	+25.4%
営業利益	19,933	14,500	△ 5,433	△ 27.3%
経常利益	20,512	14,500	△ 6,012	△ 29.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,507	10,300	△ 4,207	△ 29.0%

対売上高	売上原価率	20.5%	20.0%	△ 0.5%
	研究開発費率	14.0%	20.0%	+6.0%
	営業利益率	39.0%	32.2%	△ 6.8%

(ご参考)

共同開発先による負担控除前の 研究開発費	7,671	9,500	+1,829	+23.8%
-------------------------	-------	--------------	--------	--------

2023年3月期 予想 (内訳)

(単位：百万円)

品目	2022年3月期		2023年3月期 (予)		増減 (B-A)
	A	構成比	B	構成比	
グロウジェクト®	12,945	25.3%	13,100	29.1%	154
イズカーゴ®	3,003	5.9%	5,210	11.6%	2,206
腎性貧血治療薬	5,875	11.5%	4,930	11.0%	△ 945
エポエチンアルファ BS注「JCR」	2,876	5.6%	2,630	5.8%	△ 246
ダルベポエチンアルファ BS注「JCR」	2,998	5.9%	2,300	5.1%	△ 698
テムセル® HS注	3,497	6.9%	3,530	7.8%	32
アガルシダーゼ ベータ BS点滴静注「JCR」	711	1.4%	760	1.7%	48
主力製品合計	26,032	51.0%	27,530	61.2%	1,497
契約金収入	10,571	20.7%	15,400	34.2%	4,828
その他	102	0.2%	140	0.3%	37
AZD1222原液	14,375	28.1%	1,930	4.3%	△ 12,445
売上高合計	51,082	100.0%	45,000	100.0%	△ 6,082

注意事項

本資料中の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知ください。

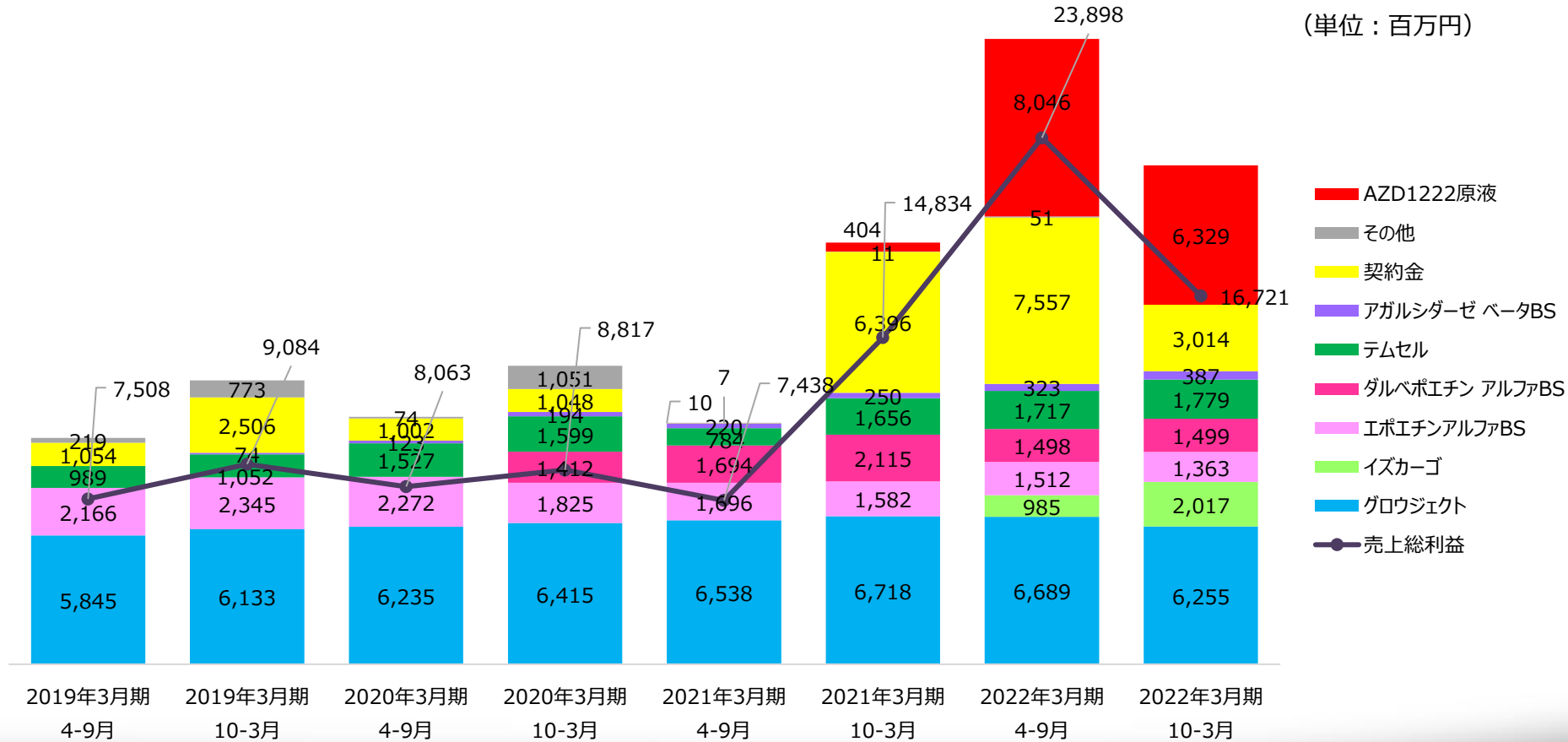
また、本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。



– JCR Biotech for a New Tomorrow –

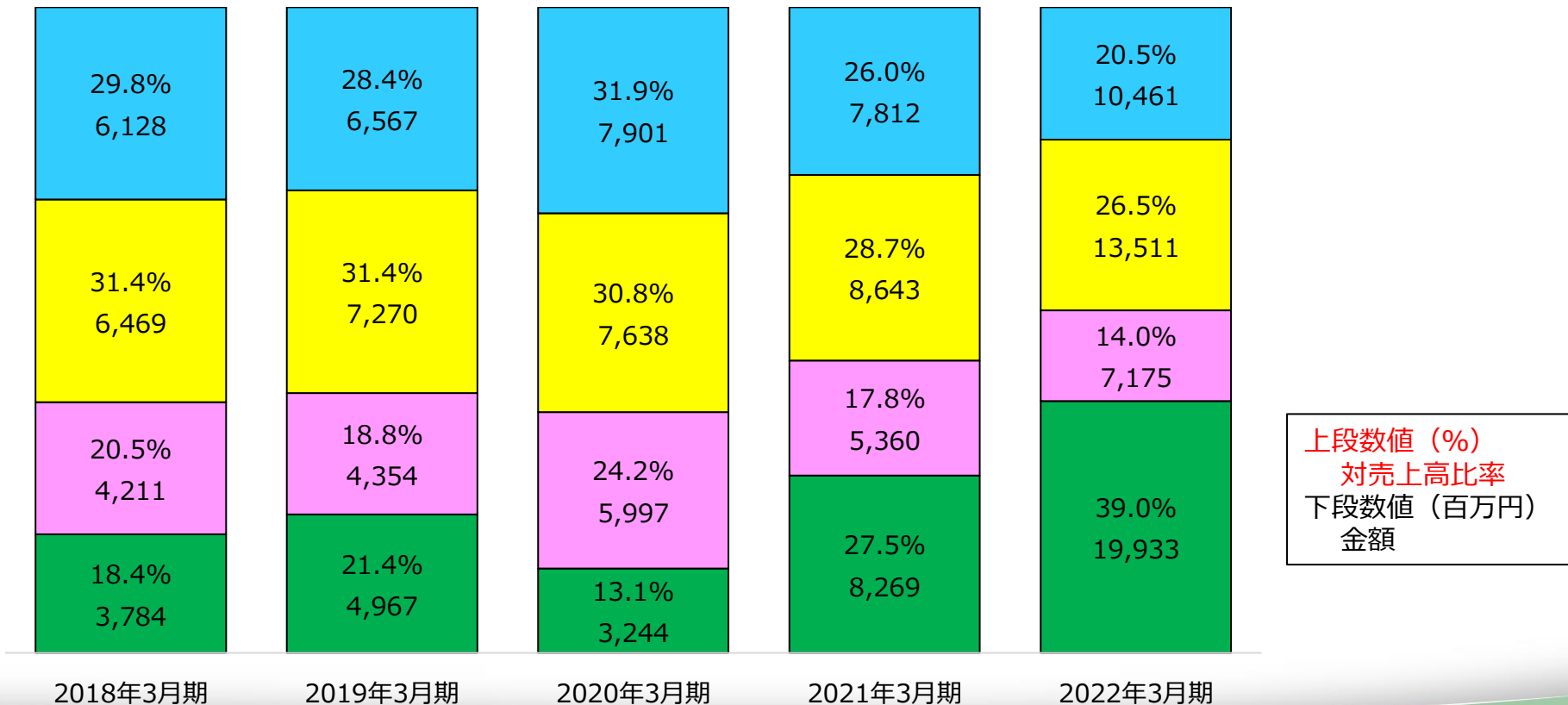
参考：累計売上高内訳（連結）推移

(単位：百万円)



参考：原価・経費の構成比 推移

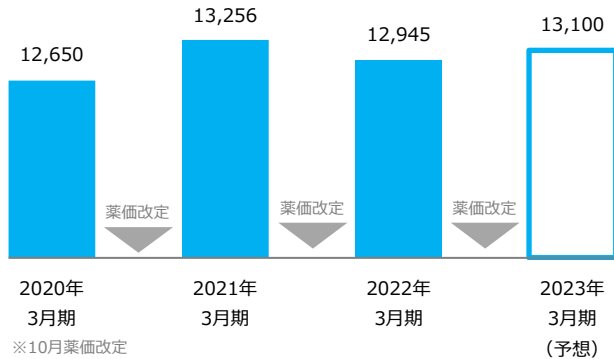
■ 営業利益
 ■ 研究開発費
 ■ 販売費・一般管理費
 ■ 売上原価



上段数値 (%)
 対売上高比率
 下段数値 (百万円)
 金額

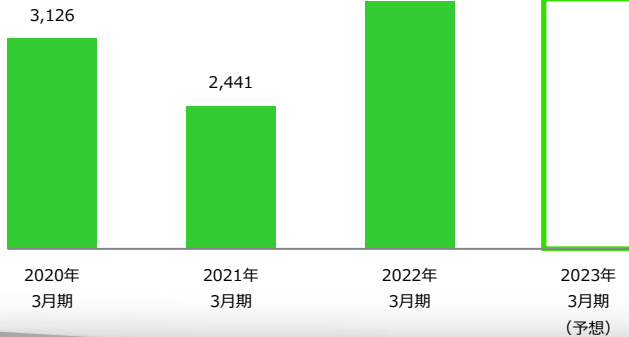
参考：各製品別売上高推移 予想

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤
グロウジェクト®



近年のトピックス
 ・2020年10月：営業体制変更
 ・2020年10月：めろん日記®公開

ヒト体性幹細胞加工製品
ヒト(同種)骨髄由来間葉系幹細胞
テムセル®HS注

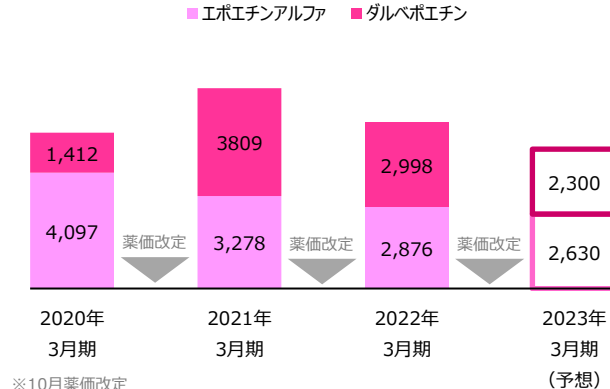


近年のトピックス
 ・2020年4月-8月：在庫ひっ迫に伴う出荷制限

(単位：百万円)

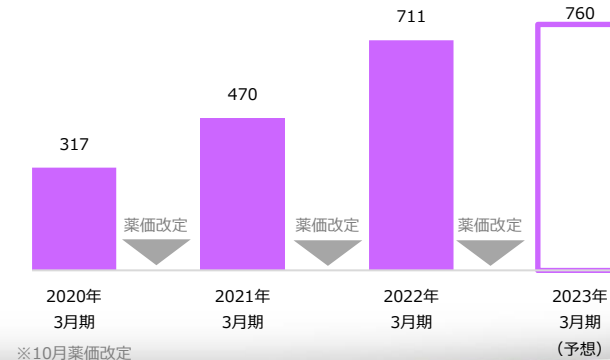
遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤
エポエチンアルファBS注「JCR」

持続型赤血球造血刺激因子製剤
ダルベポエチン アルファBS注「JCR」



近年のトピックス
 ・2021年4-5月：エポエチンアルファBS注「JCR」シリンジ製剤出荷調整
 ・2021年8月：ダルベポエチン アルファBS注シリンジ「JCR」出荷調整解除

遺伝子組換えファブリー病治療剤
アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」



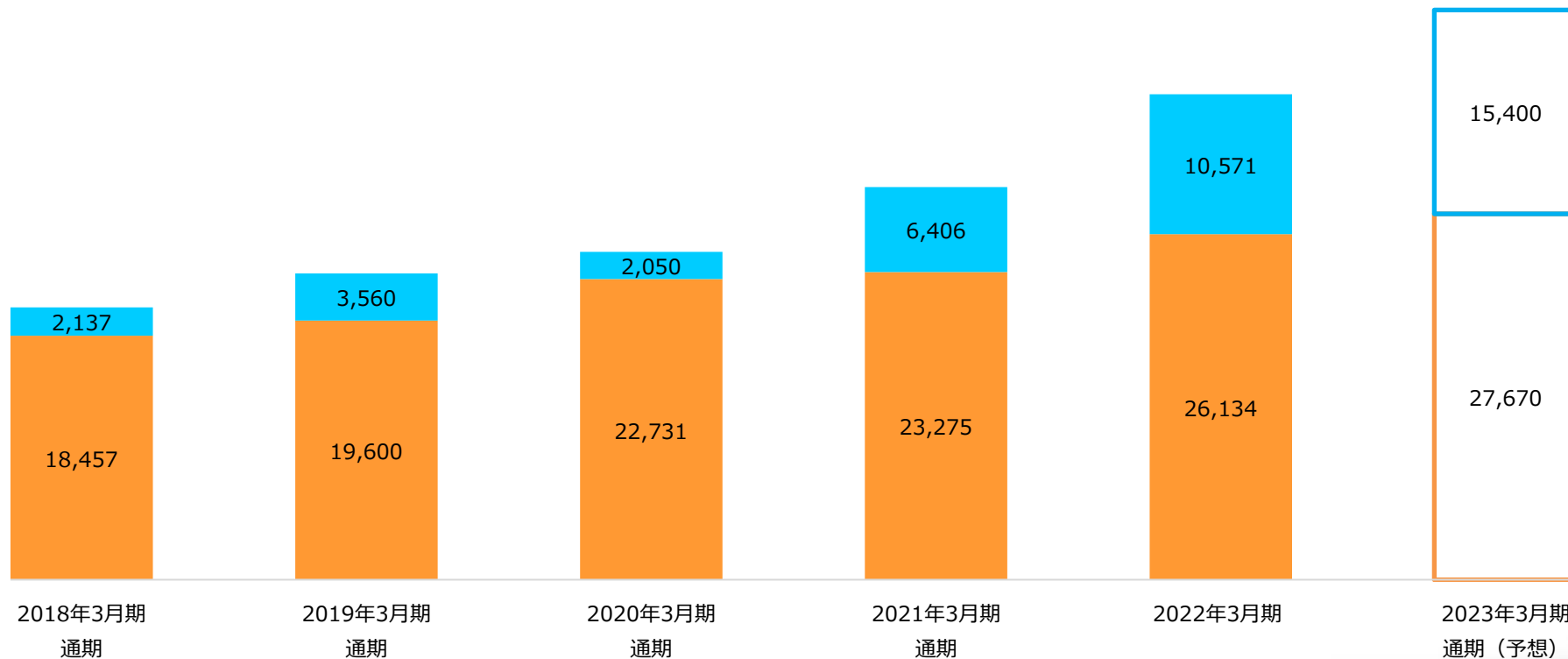
近年のトピックス
 ・2022年4月：住友ファーマに販売移管

参考：売上高推移 予想（AZD1222原液を除く）

■ 製商品*売上高 ■ 契約金

（単位：百万円）

*製商品：グロウジェクト、イズカーゴ、腎性貧血治療薬、テムセル、アガルシダーゼベータBS注「JCR」、その他



参考：研究開発費と主な研究開発品目の進捗状況

(単位：百万円)
9,500

- 非臨床
- 臨床
- ★ 承認申請
- 承認取得

研究開発費（負担控除前）



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期（予想）
JR-141(日本)			★	○	
JR-141(ブラジル)			★		
JR-141(グローバル)					
JR-171(グローバル)					
JR-162					
JR-441					
JR-443					
JR-446					
JR-479					
JR-401X					
JR-142					
JR-031EB			2021.3 開発中止		
JR-031HIE					
JTR-161/JR-161					2022.4 共同開発終了
ダルベポエチン アルファBS	★	○			